

七月二日

軍司令部
軍海軍参謀
へ電報

一、午前零時五十六分軍参謀

現地ニ於ケル最後通牒ヲ

アルマテ差控フヘシ右依

岩崎参謀ヨリ土屋参謀へ

飛行機ヲ以テ敵越境飛

部ノ方針ニ就キ御旨ニ望ム

此日朝有力ナル敵船團ヲゲール岬附近ヲ遊ヤアリ

又煙霧ニ、有力部隊進入セリトノ報アリ

師團長へ

(一)帝國政府ハ正當ナル我主張ヲ蘇側カ誠意ヲ以

テ聽カサルニ於テハ實力行使亦已ムヲ得サルモ

既ニ正式ニ通牒シアリ而シテ敵ニ誠意ナキコトハ

明瞭ナルニ拘ラス傳未ズ

シテ止マシカ帝國ノ威嚴ハ地ニ隊

師團長獨斷
ヲ以テ張報等
敵ヲ攻撃
スルニ決ス

赤軍ニ交付スルコトヲ別命

ト擧セサル中

蘇滿國境全方面ニ於テ悔行爲ヲ反復スヘク
延イテ目下進行中ノ我對支政策ニ重大影響
ヲ及ホスコト朋ナリ此ノ如クシテ衝突ヲ避ケント
シテ却ツテ全面的日蘇衝突ヲ惹起スルニ至ル
虞アリ

張鼓峯方面ノ敵ハ銳意陣地ヲ增強シツツアル
ノミナラス二百既ニ狙撃三ヶ師團ニ戰鬪準備ヲ
命シ浦塩飛行旅團機械化旅團ハ既ニ出發セル
ノ情報アリポセツト灣入港ノ船舶多数晝夜ホ
セツト煙秋間ノ自動車往復煙秋以南張鼓峯
方面ヘノ軍隊ノ移動頻繁ナルノ事實ニ鑑ミ曠
日彌久セハ實力行使ノ大命アルモ師團ノ現兵力
ヲ以テシテハ如何ニ爲シ得サル苦境ニ陥リ延不
テハ皇軍ノ威武ヲ失フニ至ルハシ